



わたしの夢

川俣小学校6年

山口 優空^{ゆう}

歴史に名を残せるような
プロ野球選手になりたい

わたしの夢は、歴史に名を残せるようなプロ野球選手になることです。私が野球を始めたきっかけは、5年生の時に父が連れて行ってくれて見た楽天対オリックスの公式戦です。活躍している選手たちを見てとてもかっこいいと思いました。また、以前から友達にも誘われていたこともあり、今年の春休みにソフトボールを始めました。初めは、頭では理解したつもりでも実際にやってみるとできないこともあって悔しいと思うこともありました。しかし、それ以上にボールがバットに当たった時の感触や正面でボールを捕球できた時の嬉しさが勝り、とても楽しいです。憧れの選手は数人いるのですが、特に私と同じ背番号8番で長打も安打も出せる阪神の佐藤輝明選手のような選手になりたいと思っています。プロ野球選手になるためには、努力はもちろん、最後まで諦めない気持ちをもつことが大切だと思います。今後も全力で練習に励みたいと思います。

町長のひとこと vol.54



人口減少はなぜ問題なのでしょうか。今やどの自治体も人口減少を課題に挙げています。しかし、なぜ問題なのか、何が困るのかという点について、明確に示すことのできる人は意外と少なく、一般社団法人理事長の中貝宗治氏は「最大の問題は若者の流失」と述べています。なぜなら1人当たりの年間平均消費金額は125万円ですから、1万人減ると単純に125億円の消費が町から消えると考えられます。2万人減ったらどうなるか。商店街は疲弊し、企業は労働力の不足に陥り、公共交通の維持が困難となります。10月には国勢調査が行われますが、第6次振興計画の推進によって緩やかな人口減少になっていることを期待しています。